

2023年度 群馬大学工業会関西連合支部総会 議事録

1. 日時：2023年10月21日（土） 13:30-16:30
2. 場所：新大阪丸ビル新館 606 会議室 及び Zoom による遠隔参加
3. 参加者：現地 29人(予定30人) 、Zoom 2人(予定7人)
4. 報告、議事事項：当日配布資料の「式次第、活動報告、連絡事項」
5. 総会概要
 - (1) 司会は川崎副連合支部長：開会の辞、物故会員への黙祷
 - (2) 本部からの挨拶・報告（大河原副理事長）
 - ・本年より小松原氏を理事長とする新体制。本部の会議は主に Zoom を利用
 - ・大学・支部活動の情報は、工業会 HP、SNS への掲載、支部長へのメールで配信
 - ・事務局では、工業会HPの更新、メールアドレスの整備などの業務改善
 - ・専門委員会として新たに組織活性化委員会を発足（委員長：大河原副理事長）
 - ・学生会員支援として大学への寄付、振興委員会による企業合同説明会(就職支援)の開催
 - ・WEB Pal（地域支部の枠を超えた情報交流の場の提供）を計画中
 - (3) 関西連合支部活動報告、会計報告（大河原関西連合支部長）
 - ・前年の第15回関西連合支部総会(2022/10/15)の参加者は会場26人、オンライン12人
 - ・各支部の枠を越えて参加者を募る行事について、連合支部として5,000円/行事を支援予定
(支援対象行事は連合支部役員会で決定。2023年度は6行事を対象)
 - ・2022年度収支は、単年度約1万円の赤字。
2023年度は、支部活性支援金の増額により、単年度収支改善の見込み
 - ・京滋支部の栗原 優 氏(38C) が、Sidney Loeb 賞を受賞
 - (4) 関西連合支部会則の一部改訂。23年度連合支部役員の選任。
会則改訂：副連合支部長 2名⇒4名に変更
(在阪4支部の支部長を指名できるよう)
連合支部役員：大河原連合支部長を含め15名の役員を選任
 - (5) 2023年度会計監査報告（石川会計監査役）：問題ないことを報告
 - (6) 各支部活動報告
 - (イ) 大阪神戸支部（川崎支部長）：例会（飲み会）、ゴルフコンパ、桐友会(吉野・近江散策会) 紹介
 - (ロ) 京滋支部（須内支部長）：コロナ禍で活動できず、副支部長 他役員3人辞任（後任が決まっていない）
 - (ハ) 奈良支部（大野支部長）：桐友会(吉野)実施、囲碁の会・ゴルフの会の幹事不在

(二) 和歌山支部 (有北支部長) : 名簿整備、メールによる情報配信、WEB Pal 参加

6. 講演会 : 演題 : 『2030 年の世界、生き抜くための我国の使命』 大和心の実践

講師 : 久保義弘 様 (修 50P、前奈良支部長)

講演要旨は別添「講演メモ」参照

ヤマト(ユダヤ語で神の民 : ヤ=神、マト=民)

7. 懇親会 (於 : ホテル新大阪、時間:17:00~19:00 : 参加者 27 人

以上 (記 : 有北和歌山支部長)



総会 : 現地参加者集合写真



懇親会 : 関東八州を合唱。中央は講師久保義弘様

群馬大学工業会 2023 年度関西連合支部総会 講演会メモ

演題：「2030 年の世界、生き抜くための我が国の使命」

講師：久保義弘様（39C、前奈良支部長）

日本には、個人主義とは異なる家族主義に重きを置く「大和ごころ」が根付いていた。これは神代の時代からの神道文化に、シルクロードを通じてユダヤ文化の影響を受けて定着した。家族で同一の行動をし、その周辺にも広げていくもので、大きな力となる。しかし、コロナ渦では同調圧力を生むという負もある。大東亜戦争では「大和魂」として恐れられ、戦後、GHQ により否定された。

今日、ユダヤ人は世界に広がり、発明・発見を始めとして、多くの分野で大活躍をしている。ユダヤ文化を取り入れている「大和ごころ」を中心とする活動が、「2030 年の世界、生き抜くための我が国の使命」においては不可欠である。また、家族主義は日本の少子化対策にもなる。

日本の近代化に製糸産業が大きな役割を果たし、「東の桐生、西の西陣」と言われる。関西連合支部会員はその桐生で勉学し、「大和ごころ」の発祥の地である関西に居ることから、2030 年の世界で生き抜く力を持っており、大いに活躍が期待される。

（記；和佐田 大阪神戸支部副支部長）